

# はじめに

平成15年4月より新学習指導要領に基づく授業実践が学年進行で始まりました。そこでは、知識・理解に加え、学ぶ意欲や、自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」をはぐくむことが求められています。そのためには、教育内容を基礎・基本に重点化し確実にそれらを身に付けさせるとともに、問題解決的な学習、課題追究学習や主題学習を充実させ、習得した基礎・基本を活用しながら生徒が自ら考えたり学び方を学んだりするなど学習形態を工夫する必要があります。また、それらの学力が生徒一人一人に確実に身に付いているかどうかについても、定期考査だけに頼るのではなく、授業の指導の中で評価したり生徒自身に自己評価をさせるなど評価方法を工夫し、授業を改善していくことも求められています。「トーク・アンド・チョーク」による詰め込み型の授業や用語を暗記しているかどうかを試すだけの評価問題では、多様化した生徒に対応できないばかりか、空前の激しい変化が予想される21世紀社会を生きていくための学力を育てることもできません。私たちの授業もこうした社会的要請に的確に対応していく必要があります。

この冊子は、高等学校教科指導の充実に関する研究会の委員が、「どうしたら生徒の学習意欲を高め、『確かな学力』を身に付けさせる授業ができるのか」について今までの教職経験を基に授業内容や授業方法を検討し、「授業の手引き（社会科）」（平成2年3月）及び「授業の手引き（地理歴史科・公民科）」（平成11年3月）を改訂する形でまとめたものです。ここに示したものが、最善のものであるとは思いませんが、授業を行うに当たって参考になることも多いと思います。また、この冊子を最初から読む必要はありません。関心のあるところから読んでいただければ結構です。

ぜひこの冊子を参考にして、自分なりの工夫を加え、また、お互いに授業実践を交流し、教科の指導力を高め、愛知県の地理歴史科・公民科教育を一步でも前進させていただきたいと願っています。

平成16年3月31日

高等学校教科指導の充実に関する研究会（地理歴史科・公民科）研究協力委員

愛知県立	旭野	高等学校教諭	藤中 政浩
愛知県立	豊明	高等学校教諭	豊永 秀行
愛知県立	日進	高等学校教諭	島村 純イ
愛知県立	起工業	高等学校教諭	岩本 光明
愛知県立	刈谷	高等学校教諭	神谷 康夫
愛知県立	衣台	高等学校教諭	白井 雅彦
愛知県立	知立東	高等学校教諭	森 也寸司
愛知県立	豊橋西	高等学校教諭	大谷 敏之
愛知県立	福江	高等学校教諭	林 哲志
愛知県総合教育センター	研究指導主事		大橋 貴資
愛知県総合教育センター	研究指導主事		磯谷 正行